

調達改革ロードマップ

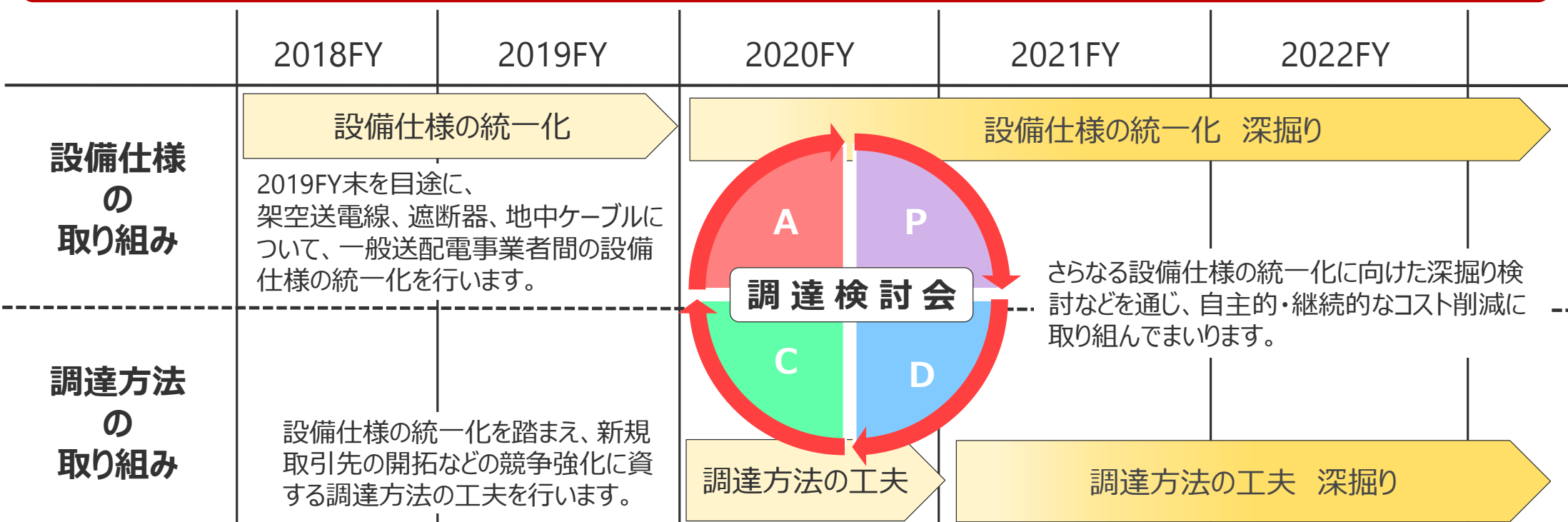
2019年3月29日

- 現在、一般送配電事業を取り巻く環境は、省エネルギーの進展や人口減少などによる電力需要の伸び悩みに加え、高度経済成長期に建設された各種送配電設備の高経年化対策や再生可能エネルギーの導入拡大に向けた対応など、多様化・複雑化している状況にあり、特に再生可能エネルギーの最大限の導入にあたっては、安定供給を大前提としたうえで、導入に係るコストの低減とシステムを始めとした不可欠な投資の両立に取り組む必要があります。
- こうした事業環境の中、総合資源エネルギー調査会再生可能エネルギー大量導入・次世代電力ネットワーク小委員会においても、2018年5月に「国民負担を抑制していく観点から、再生可能エネルギーの導入拡大等に伴い増大するネットワークコストを最大限抑制するため、既存ネットワーク等のコストを徹底して削減すべきである」旨の取りまとめが行われ、中間整理として公表されております。
- 当社では、「良質な電気の安全・安価で安定的なお届け」という変わらぬ使命の下、再生可能エネルギーの系統接続に関連した設備の調達改革（設備仕様の統一やそれを踏まえた調達方法の工夫）を通じ、既存ネットワークコスト等のコスト削減に向けた取り組みとして、ロードマップを策定しましたので、公表いたします。

02 | ロードマップ

- 既存ネットワークコスト等のコスト削減に向け、一般送配電事業者各社が使用している設備の仕様の統一、それを踏まえた新規取引先の開拓や新たな調達方法の導入等を通じ、競争環境の活性化を推進し、コスト削減に取り組んでまいります。
- さらに、電力ネットワークカンパニー内に設置した調達検討会のもと、実行した施策の検証・分析を行い、P D C Aサイクルを確実に回すことで、自主的・継続的なコスト削減に取り組んでまいります。

ロードマップ



仕様統一

【架空送電線】

- ACSR系電線としては、一般的に使用してきたACSRと、より耐食性が高いACSR/ACがありますが、2019年度末を目途に全国大でACSR/ACに統一することで、スケールメリットによる価格低減に向け取り組んでまいります。

【遮断器】

- 2019年度末を目途に66kV・77kVガス遮断器(GCB)の各社仕様を統一することで、メーカー製造工程の効率化やスケールメリットによる価格低減に向け取り組んでまいります。

【地中ケーブル】

- 2019年度末を目途に6.6kV CVTケーブルの各社仕様を統一することで、メーカー製造工程の効率化やスケールメリットによる価格低減に向け取り組んでまいります。

具体的な取組内容・施策

【架空送電線】

- ACSR系電線にはACSRとACSR/ACがありますが、それぞれのスペック等を比較するなどして、全国大でACSR/ACに統一することによる不具合が発生しないかを検証してまいります。
- 新設送電線のみならず、既設送電線についても、設備更新の機会を捉えてACSR/ACの採用をしてまいります。

【遮断器】

- 各社の現状仕様を把握し、標準仕様を検討、規定することでスケールメリットを拡大していきます。
- 新設遮断器のみならず、既設遮断器についても、設備更新の機会を捉えて新仕様の採用をしてまいります。

【地中ケーブル】

- 各社の知見を反映した試験方法や、材質等の各社個別仕様を取捨選択し、標準仕様を設定します。
- 新設ケーブルのみならず、既設ケーブルについても、設備更新の機会を捉えて新仕様の採用をしてまいります。

04 | 今後の調達工夫に向けた取り組み

- 設備仕様の統一による品目別の市場変化を踏まえ、競争強化に資する「新規取引先の開拓」やまとめ発注などのこれまでの取組みに加え、新たな調達の工夫も積極的に導入し、コスト削減の深掘りに向けて取り組んでまいります。
- 具体的には、「競争発注比率」、「取引先拡大数」、「施策実施率」などのK P I ※¹を設定し、その目標達成に向け、取り組んでまいります。

※1) **K**ey **P**erformance **I**ndicator の略

	仕様統一化品 調達割合		競争発注比率		取引先拡大数※ ²		施策実施率※ ³	
	2018年度 (実績)	2022年度 (目標)	2018年度 (実績)	2022年度 (目標)	2018年度 (実績)	2022年度 (目標)	2018年度 (実績)	2022年度 (目標)
ACSR /AC	100%	100%	100%	100% 継続	4 社	+1社 以上	83%	100%
77kV GCB	—	100%	100%	100% 継続	3 社	+1社 以上	33%	100%
6.6kV CVT	—	100%	100%	100% 継続	5 社	+1社 以上	67%	100%

※2) 取引先拡大数の2018年度実績は、現状の取引先数を示す ※3) 施策実施率の2018年度実績内訳は、6ページに記載

05 | 2018年度 調達工夫取組実績

- 当社の調達の工夫取組実績は、下表のとおりとなります。

調達の取組み		内 容	ACSR/AC	77kV GCB	6.6kV CVT
①	新規取引先開拓	競争環境の活性化のため国内外から新規取引先を開拓	実施	検討中	検討中
②	まとめ発注	契約時期を合わせて調達量を増やしスケールメリットを得る（共同調達を含む）	実施	実施	実施
③	コスト低減提案の募集	技術提案に限定せず、調達方法など調達全般に関するコスト低減提案を募る	実施	検討中	実施
④	複数年契約	通常の契約期間を長期化することで優位な条件にて契約する施策	検討中	検討中	検討中
⑤	早期発注	取引先の生産計画平準化を目的として概略設計の状態で早期に発注	実施	検討中	実施
⑥	シェア配分競争	複数の案件をまとめて提示し、競争の結果により取引先にシェアを配分	実施	実施	実施

2018年度実績 施策実施率 ⇒

83%
(5/6)

33%
(2/6)

67%
(4/6)